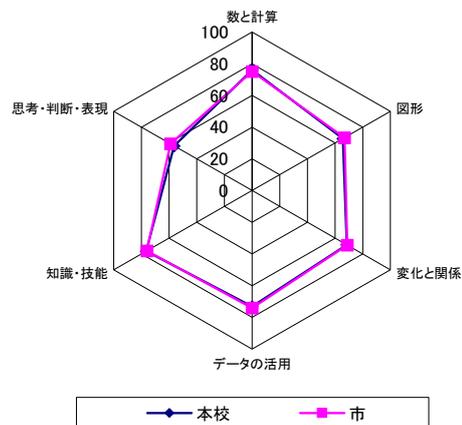


# 宇都宮市立富士見小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	76.1	75.1	75.8
	図形	65.6	66.8	68.3
	変化と関係	68.5	68.8	65.0
	データの活用	73.1	74.1	63.6
観点別	知識・技能	76.5	76.1	75.8
	思考・判断・表現	56.3	59.0	51.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○本領域の平均正答率は76.1%で、市の平均正答率を1.0ポイント上回った。</p> <p>○「分数×分数(約分あり)の計算ができる」の平均正答率は90.8%で、市の平均正答率を7.1ポイント上回った。</p> <p>●「図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている」の平均正答率は67.9%で、市の平均正答率を8.1ポイント下回った。</p>	<p>・文字を使った問題場面をイメージできるように、自分の考えを図式化する力を高めていく。</p> <p>・数直線や図を手がかりに言葉の式にまとめ、分数÷分数の式を導き出すことができるような場を多く設定する。</p>
図形	<p>●本領域の平均正答率は65.6%で、市の平均正答率を1.2%下回った。</p> <p>○「直径が与えられた円の面積を求める式を理解している」の平均正答率は89.0%で、市の平均正答率を4.2ポイント上回った。</p> <p>●「三角形の内角の和が180度であることを理解し、2つの角が与えられた三角形の1つの外角を求めることができる」の平均正答率は65.1%で、市の平均正答率を7.6ポイント下回った。</p>	<p>・三角形と四角形の単元において、三角形の角の大きさのきまりを見付ける場面では、算数的活動を取り入れ、三角形の内角の性質や外角との関係を理解できるようにする。</p> <p>・様々な図形の面積や体積を求める問題や、その図形の性質を利用して答えを導き出す問題に繰り返し取り組むことで、図形への理解を深めていく。</p>
変化と関係	<p>●本領域の平均正答率は68.5%で、市の平均正答率を0.3%下回った。</p> <p>○「速さと道のりから、時間を求めることができる」の平均正答率は84.4%で、市の平均正答率を5.0ポイント上回った。</p> <p>○「基準量と比較量から、割合を求めることができる」の平均正答率は54.1%で、市の平均正答率を0.3ポイント上回った。</p>	<p>・単位量あたりの大きさや速さの単元において、数量の関係に着目し、図や式を用いて説明したり、自分の考えをまとめたりする活動を取り入れる機会を増やしていく。</p>
データの活用	<p>●本領域の平均正答率は73.1%で、市の平均正答率を1.0%下回った。</p> <p>○「走る距離と歩幅の平均から、ある距離を走るときにおよそ何歩かかるか求めている」の平均正答率は65.1%で、市の平均正答率を4.4ポイント上回った。</p> <p>●「中央値を求めることができる」の平均正答率は69.7%で、市の平均正答率を5.8ポイント下回った。</p>	<p>・データの見方の単元において、平均値や中央値などの代表値の意味を確認する。さらに、学校や学級などの身近なデータを取り上げて学習を進めたり、自分の考えを代表値を使って説明する場面を設定したりする。</p>